

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	有機で創る元気な里づくり事業 ～スーパーぼかしを使った野菜作り～
事業主体 (連絡先)	生坂村役場振興課 0263-69-3112
事業区分	(6) オ地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	885,972円 (うち支援金: 675,000円)

事業内容

- 1 生坂村独自の有機肥料(仮称スーパーぼかし)を開発して、普及につなげるため村民を対象に、長野県有機農業アドバイザーによる講演会を実施した。
- 2 生坂村独自の有機肥料(仮称スーパーぼかし)作りの現地講習会2回と、野菜栽培の現地指導3回を行った。
- 3 慣行栽培と生坂村独自の有機肥料(仮称スーパーぼかし)で栽培した野菜の食味検査を行った(きゅうり・なす・トマト)
- 4 冬野菜栽培の可能性と害虫や鳥獣被害対策のための農業ハウスを建設した。

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

事業効果

- 1 講演会には村民31名が出席し、有機農業の基礎知識を学び興味を持ってもらう事が出来た。
- 2 生坂村独自のぼかしの有効性を確認するための食味検査を実施したが、味覚には個人差があり、有意な差異は確認出来なかった。しかし、生育は慣行栽培と劣らず、特にハウス内の栽培物の成長は著しく良かった。更に、土壌検査を3回行った結果では、いずれも土壌の状態は良く、生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)の力が良好で、有機農業の可能性を確認出来たと言ってよいと思われる。
- 3 生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)の販売に向けての見通しが出来た。
- 4 ハウス内の冬野菜の生育が順調で、新規開業予定の農産物直売所へ出荷できる見通しが出来た。



ヨモギ酵素作り

【目標・ねらい】

- ① 生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)を開発し、それを使い栽培した、ブランド野菜を作る。
- ② 特徴ある作物を特産化し、新規開業予定の生坂村農産物直売所の目玉の一つとするなど、村の農業振興と活性化を行う。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ 開発した生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)のブランド化を更に推し進めるため、袋のパッケージやチラシのデザイン、栽培した野菜に共通したシール等を作り、PRを行って行く。
- ・ 村内に生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)を使った有機農業を広げていくため、試験農場で引き続き野菜を栽培していくと共に、新規開業予定の生産者組合員に、生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)を使って野菜の栽培を行う。
- ・ 開発したぼかしの有効性を更に確認するため、食味検査や土壌検査を継続的に行う。
- ・ 新規開業予定の生坂村農産物直売所で、開発した生坂村独自の有機肥料(スーパーぼかし)で栽培した野菜を特色ある作物として販売し、村の農業振興につなげていく。

※自己評価【 B 】

【理由】

生坂村独自のぼかしが、有機野菜の栽培に適していることが確認でき、特色ある作物の特産化に向けて弾みがついた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

(別記様式第12号) (第3の8関係)

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある